

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-11
原子炉建屋内	RB	R 1	① 時間		
タービン建屋内	TB		② 距離		
R ZONE	R		③ 遮へい		
Y ZONE	Y		④ 線源の除去		
G ZONE	G		⑤ 遠隔、自動化		
その他 ()	Z		⑥ 汚染拡大防止		
			⑦ その他		
内 容		構外（管理区域外）でプレハブ化作業を行い、現地作業を簡略化			
作業部位		3号機タービン建屋逆洗弁ピット廻り			
概 略		逆洗弁ピットに屋根を取付ける作業において、構外（管理区域外）でプレハブ化作業（組み立て）を行い、現場作業を簡略化し時間短縮を行った。			
評 価 (定性・定量)	効 果		低減量		
		被ばく線量(mSv)	1,069		
		人工数(人日)	220		
事例詳細		<p>対策前 逆洗弁ピット廻りは、ガレキの影響から環境線量率が～2.9mSv/hであり、屋根材組み立てに多量の被ばく線量を要する可能性があった。</p> <p>対策内容 構外(管理区域外)で屋根材のプレハブ(組み立て)を行い、組み立てた屋根材を移動・設置することにより、逆洗弁ピット廻りでの作業を簡略化し、時間短縮を図った。</p>			
		<p>①構外(管理区域外)の作業場で、屋根・柱を組み立て、仮組を実施</p> <p>②組み立てた屋根材を現場へ移動・設置</p>			
					
<p>構外での作業(イメージ写真)</p>					